

様式第3号（第5条関係）

年 月 日

箕輪町議会議長

箕輪町議会議員 南 朋子

議員グループ研修派遣結果報告書

箕輪町議会議員グループ研修実施要領第4条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研 修 名	自伐型林業と議会活性化研修
研修の期間	2025 年 2 月 3 日～4 日
研修の場所	①徳島県橋本山林、②徳島県那賀町議会
成 果 ①橋本山林	これから自分たちの地域の山をどう守っていくか、そのヒントを得たくて、中山間地で小さな林業の目指すべき形として注目されている自伐型林業のレジェンド、橋本家に研修の機会を得た。 私が訪れている辰野の里山活動では、重機を使うとこなく女性たちの手で、そこにあるを使ったしがら組み、石積みなどを行っている。かつての里山・入会地はそうだったのではないかな。 反面、地元の山や沢は、大規模な砂防施設で固め、U字溝を敷設し、大雨のたびに崩れ、その都度、今は現役の高齢者たちの手で修復を繰り返し、重機とお金を使っている。その仕組みは全国で起きている問題。 橋本林業では、山に毛細血管のように作業道を張り廻らせ、人に頼むことなく少数の家族だけで何代にも亘って 100ha 余りの山を守り、生計を維持してきた。その山は、どれだけ愛情と手を掛けて守ってきたかが空気でも感じられるほどであった。 2 時間ほど山を歩き、20m 以内の間隔で引かれている排水傾斜を足で感じた。水の流れるところに生える幾種類ものコケたちが、水の流れをゆっくりに調整している。年間 3000mm の降水量なのに、びくともしない幹線と支線。いちばんいけないのは、皆伐とおっしゃっていた。 これからは、私たちの世代や、女性、移住者がこの山を守っていかなければならない。先代とその奥さま、息子さんとのお話しの中で、小さいユンボと女性や高齢者でも林業はできるとの言葉が、心強かった。
②那賀町議会	自分だけが議会活性委員ではなかったので、少し受け身で講義を受けていたが、柏木副議長の鬼気迫る話と真剣さに引き込まれた。 私が日頃感じ、諦めに近い思いを抱いていた、箕輪町議会に対するモヤモヤした気持ちをすべて代弁してくださった。 議会はただの追認機関になっていないか。その活動は、自分の実績づくりではないのか。議会が決めて、行政が執行するという基本。視察が物見遊

	山になっていないか。 那賀町に比べれば、うちはまだまだ大丈夫と思っていると、近いうちに箕輪町はゆでガエルになると思う。 初議会で町長提案予算の修正動議を出した、若手副議長の熱弁を皆さんにも共有したかった。 ● 「那賀町の希望を創る株式会社」設立しました 渡辺美里と、法政大学と、そして青年会議所に育てられた…那賀町議員・柏木岳のブログ ・全会一致の合意を得ずとも、事を進める。 それはなぜか。人口 7 千人余りの町で、毎年 200 人減っている。 その存続は切羽詰まった状況であると汲み取った。他人事か？ ・ペーパーレスの導入 73 歳の議員よりも 80 歳の議員がタブレットにしようと言って決まったとのこと。研修の際の 100 ページ近くにわたる資料も、渡されたタブレットで簡単に見ることができた。PDF は後日データ送ってくださり、議会運営に有効なのがあった。 ・議会の配信だけでなく、委員会審査も YouTube 配信している。 さらに音声同時文字起こしツール（年間 60～70 万）を導入し、議事録の文字起こしなどの人件費削減にもなっている。 ・一般質問もパワーポイントで可視化して、わかりやすく。 ・若手議員登用のためには、若手の報酬を上げることが必要。 ・議員間討議を導入している。箕輪町ではしていない。 ・通年会期制を取り入れ、迅速化と合理性をもちながら議会機能を強化。 ・オンライン委員会を取り入れている。 ・「議会事務局」→「議会局」に変更。 議員と協働し、議会の政策立案能力を高めるため。事務局は、事務処理とお茶くみではない。お茶は議員各自が持参する。 ・片山善博 鳥取県知事 就任あいさつ、地方自治について。
グループ研修 派遣議員名	自伐型林業と議会活性化研修 南 朋子